博物館だより

2025年 夏号he Museum Letter

葛飾区郷土と天文の博物館 |Katsushika City Museum



戦後80周年「かつしかと戦争」パネル展

昭和20(1945)年に終戦を迎えてから、今年で80年になります。

第二次世界大戦下の葛飾区内の状況、教育や地域、暮らしに与えた影響を紹介します。

令和7年 8月2日(土)—10月5日(日)





から帰ると自由時間。 生も下級生も一緒に



休止期間は下記のとおりです。 再開時期などについては、ウェブサイトや

葛飾区の広報誌[広報かつしか]でご案内します。

休止期間

令和ワ年 7月1日~10月31日(予定)



かつしかトピック Topics 郷土かっしかの歴史や民俗、文化財にまつわる話を 7006 不定期でお届けするコーナーです。



かつしかとマコモ

マコモはイネ科の多年草で、水辺に群生し、成長すると人の背丈より高く 伸び、6月~7月頃に緑色の葉を成長させ、冬になると黄色く変色します。

古来より神社仏閣の神事や、屋根を葺いたり寝床を作るなど生活用具と して活用され、万葉集にも詠まれており、日本人と関わりが深い植物です。 タケノコと食感や味が似た食材の「マコモダケ」は、黒穂菌が付着し肥大化 したマコモの根本の部分です。黒穂菌により得られる色素は絵の具や眉墨 にもなるなど、その用途は多岐に及びます。

河川が多い葛飾でもマコモは人々の暮らしに身近な植物でした。マコモ は現在でも、水元公園や、江戸川、中川などの河川敷で見られます。葛飾で 夏の時期に様々なものに利用されてきたマコモについてご紹介します。







七夕飾り

葛飾区で一般的な七夕飾りとして飾られる七夕馬と牛は、マコモで作られます。葛飾区では七夕は盆の行事のはじまりと され、7月もしくは8月7日に行われます。マコモで馬と牛を作る理由は定かではありませんが、一般的にはお盆に帰ってくる ご先祖様の乗り物と言われています。馬と牛は6日に作り、7日の朝になると、庭に2本の笹を立て、マコモで作った縄を張り、 中央に、向かい合わせのマコモの馬と牛を下げます。そのほか、ほおずきや枝豆、出穂したばかりの青いうちの米の穂などを 飾ります。笹の間には、棚を作り、旬のカボチャやトウモロコシ、新麦で作ったうどんや小麦まんじゅうをお供えしました。 七夕が終わると翌日には、馬や牛は子どもたちの遊び道具になり、家中を引っ張って遊び、最後は川に流しました。

マコモで馬や牛を作る地域は、そう多いわけではありません。全国的にみると、雄雌の馬を作る、馬を多数作る地域も あります。材料も稲ワラやチガヤ、麦ワラのほか、たてがみを作る時に、トウモロコシのひげや田植えの際に神様に供えた

です。葛飾区では、この時期に 柔らかくて、青々としたマコモ が各所で容易に取れるため、 七夕馬と牛の材料に利用され てきたのではないかと考えられ ます。





マコモで作った馬と牛に米・酒や夏野菜を供える。





七夕お供物

マコモ膳(盆ござ)

葛飾区ではお盆の祭壇である盆棚に使うマコモ膳(盆ござ)を作って出荷する農家が多くありました。この時期に収穫した マコモの太い茎の部分を等間隔で切り、同じ太さのもので編んでいきます。マコモ膳はお盆の前だけしか取引されないもののため 6月から7月頃の農作業が終わる夕方から、そして、夕飯を済ませてから寝るまでの間、たくさんのマコモ膳を制作しました。この



農家では多くのマコモ膳を作って いましたが、平成に入るころには区内 ではほどんど見られなくなりました。



ガラガラ膳

ガラガラ膳とは、ノダナや仏の腰かけとも呼ばれており、十字に組んだ竹に、マコモを 編み込み、土にさして、墓に設置する膳のことを言います。墓のほかに、道端にも無縁仏の ために膳を作ります。水元ではこのお膳にさいの目に切ったナスと、お水とあんころもちを お供えします。金町では、仏様の数だけガラガラ膳を作り、お墓の周りに置くのだそうです。 ある程度の強度があるマコモだからこそ、竹をしならせて土にさしても、膳としての形を 崩すことなく設置できるのではないかと言われています。

葛飾区とマコモの現在

都市化が加速した昭和50年代になると、葛飾区の水辺は、都市河川となり、コンクリートでふたがされるようになりました。 いたるところで見られたマコモも、区内の限られた場所でしか生息できなくなったのです。そのため、農家はたくさんのマコモを 求めて、埼玉や茨城まで車で取りに行くようになりました。しかしながら、平成に入るころには、マコモを利用した生産物 の取引も珍しいものとなり、現在は区内でマコモを手に入れることさえ困難となりました。

マコモの七夕馬と牛の作り方を教えてほしいと、区内の農家の方にお願いしたときに、「いつでも教えてやるから、柔らかくて 青いマコモをひとマルキもってきな」と言われました。葛飾区では、夏に取れるマコモという植物が、いかに重要視されていた のか、そしてその植物が都市化してしまった現在、とても貴重なものになってしまったことを知った瞬間でもありました。

博物館では現在、区内のマコモの生息地を調査し、博物館ボランティア「田んぼサポーター」の皆さんと、区内のマコモで

七夕馬と牛を作る取り組みを行っています。今年は実験的に牛と馬を複数作り ましたが、次年度以降は、刈り取りの時期や、7月7日に間に合うように、マコモ馬と 牛の制作を行い、博物館で葛飾区の伝統的な七夕飾りの復元を行い、展示などで 皆さんにご紹介していきたいと考えています。なお、田んぼサポーターとして活動を 共にすることもできます。興味のある方は、博物館までご連絡ください。







【後80周年「かつしかと戦争」パネル展

昭和20(1945)年に終戦を迎えてから、今年で80年になります。

第二次世界大戦下の葛飾区内の状況、教育や地域、暮らしに与えた影響を紹介します。 展示を通じて、平和の大切さに思いを馳せていただければ幸いです。

軍馬の飼料を採集する 奉仕活動(高砂)

令和7年8月2日(土)—10月5日(日)

当館2階 特別企画展示室

展示内容

プロローグ - 葛飾区誕生から 戦争の時代へ- 国策の変化と 地域や教育 への影響

戦争の激化と 銃後の暮らし

防空溜習

学童疎開の 本格化と 区内の空襲 地域の復興と 新しい教育

初公開の 戦争関連 収蔵資料展示

今回が初めての公開となる博物館収蔵の戦争関連資料を展示します。



広島と長崎への平和学習を伴う修学旅行を実現した「江口「保」先生」

昭和50年(1975)に山陽新幹線の岡山-博多間が開通したことで、東京都日野市の七生中学校が広島行きの修学旅行を実現させ ました。これを聞いた葛飾区立上平井中学校教員の中に「江口保先生」がいました。江口先生は自らも長崎の原爆により被爆した ことから、同僚の先生方に広島の慰霊碑の前で被爆者の方々の話を聞く「平和学習」と「修学旅行」の必要性を説き、ここから上平井 中学校における広島修学旅行の検討が始まりました。

江口先生は、市内に数か所ある慰霊碑の前で、8月6日に爆心地付近で学徒動員として勤労奉仕を行っていた際に原爆の犠牲になった

__0_

曳舟十三橋

JR 創有駅 南口 徒歩255

曳舟川

中学生の親から話を伺う形式の「碑前学習」を計画しました。その実現のために、何度も広島を訪れ、 学徒動員の被爆者の親に「上平井中の子どもたちに碑の前で当時の話をしてほしい」と嘆願して回りました。

昭和51年(1976)の初回では被爆者の親が、「あの日元気に家を出て行った子どもたちが、原爆の犠牲 になったこと」を口にするにはまだ抵抗があったため、話を伺うことは困難な状況でした。しかし、 上平井中学校の生徒たちが熱心に当時の話に耳を傾け、慰霊碑に手を合わせている姿を見た被爆者の 親から、「自分の子が帰ってきたようで、嬉しい」という言葉をいただいたのです。これをきっかけに、 上平井中の子たちにまた会って、話をしたいという声も聞かれるようになり、翌年から「碑前学習」で 多くの被爆者の親の証言が始まりました。

江口先生が実現させた上平井中学校によるこのような広島修学旅行の方式は全国へ広がりを見せ、 教員や学校からの相談や問い合わせが後を絶たない状況でした。

その後江口先生は、定年前に退職し、単身で広島に転居したのち[ヒロシマ・ナガサキの修学旅行を 手伝う会」を主宰、生涯延べ1,000を超える学校と20万人以上の生徒たちの修学旅行を支援しました。 展示会では上平井中学校の修学旅行に関する当時の資料が展示されます。

北千住

徒歩7分 🕄

. 2

京成電鉄お花茶屋駅 徒歩8分

①^{徒歩5分} 洋菓子店

....

タクシー会社

共栄学園



原爆ドームと江口保先生

ご利用案内・アクセス

開館時間 午前9時~午後5時 (金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで) 休館日 月曜日、第2・4火曜日 (月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館) 入館料 大人 100円 小中学生 50円 幼児無料 (毎週土曜日は中学生以下無料。) プラネタリウム 大人 350円 小・中学生 100円 観覧料 幼児(座席を使う場合)50円 (毎週土曜日は中学生以下無料。)

大人 2,000円 中学生以下 700円 購入から1年間、入館料とプラネタリウム観覧料が 不要になります。購入時にご希望があれば、 「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。 この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。

T125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

松戸▶

運輸会社。

ディスカウント

雷車

電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849

葛飾区郷土と天文の博物館 € 京成バス東京(綾01系統)で 「亀有学び交流館」バス停下車 徒歩7分

> ④ 京成バス東京 (新小52乙系統) または 京成バス(新小53系統)で 「亀有新道」バス停下車 徒歩11分

京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分

「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分

JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分

「共栄学園」バス停下車 徒歩5分

① 京成バス東京(有57系統)で

※最新情報はパス会社のウェブサイトをご覧ください。



年間

パスポート